

整理番号：6－1

提言題名：河川の浚渫の検討を（洪水対策について）

【提言の要旨】

常に水害の危険に脅かされている取手市だが、今年度は小貝川右岸で嵩上げと堤防強化の工事が行われ住民にとってありがたいことである。堤防の工事も大切だが、河川の浚渫も検討していただきたい。工事のコストも嵩上げや強化よりも低価格と思われるが、一級河川だけでなく中小の河川でも検討すべきで、溝水に近い川で中州が盛り上がっている。安易な浚渫は堤防の強度を弱めるかもしれないので河川工学専門家のアドバイスも必要だと思われる。国交省地方整備局との話し合いの機会にも取り上げてもらいたいし、中小河川について市でも検討してはいかがかと思っている。

（令和2年11月受付）

【回答の要旨】

取手市は利根川と小貝川に挟まれる地形を有していて、河川の氾濫に対する備えが重要であると認識しているところです。国土交通省管理河川であります小貝川は、下館河川事務所、利根川下流河川事務所による維持管理が行われております。その中で、堆積土砂や樹木繁茂に起因した氾濫の危険性を軽減するために、河道掘削（浚渫）や樹木伐採を行っています。河道掘削（浚渫）と増堤工事（嵩上げ）の工事費用の比較については、河川事務所に確認を行いましたが、工事規模や程度により違いがあるため一概に比較することは出来ないとのことです。その他、それぞれの河川事務所の事業の一環で防災意識の共有を図るため、小貝川に接する流域市町と関係機関が連携し、重要水防箇所の現地共同点検を毎年度実施しています。

また、小貝川には大規模氾濫に関する減災対策協議会が設置されていて、流域市町、茨城県、国が、的確な水防活動、大規模氾濫時の減災対策に関する取り組み等を進めながら、連携協力体制の構築を図っているところです。

なお、茨城県管理河川であります中小河川の浚渫についても、竜ヶ崎工事事務所に確認を行ったところ、県が管理する全ての河川を対象に毎年度実施している河川総点検をもとに、土砂の堆積状況を調査して、結果をもとに対策しているとのことです。取手市内でも平成28年から昨年度まで、北浦川の浚渫を行なっています。

今後の市の防災行政について、何卒ご理解ご協力をお願い申し上げます。

（安全安心対策課 令和2年11月回答）